

# 流域に安心な暮らしをつくるために ～今ノ浦川総合内水対策計画(H19-H30)～

平成30年度までに、平成16年11月洪水(時間雨量68mm、24時間雨量257mm:確率規模W=1/20相当)と同規模の集中豪雨が発生した際に、二之宮地区の**床上浸水被害の解消**と今ノ浦川流域全体の**浸水被害の軽減**を図ります。

## 進捗状況図

平成29年3月末時点

- 磐城北高校 校庭貯留H20完成
- 磐田農業高校 校庭貯留H20完成
- 磐田第一中学校 校庭貯留H20完成
- 磐田西高校 校庭貯留H22完成
- 磐田西小学校 校庭貯留H20完成
- 磐田中部小学校 校庭貯留H20完成
- 向陽調整池 V=40,000m<sup>3</sup>
- 柴田山調整池 V=100,000m<sup>3</sup>
- 富士見小学校 校庭貯留H20完成
- 磐田学園 校庭貯留H19完成
- 安久路調整池 V=70,000m<sup>3</sup> H22完成
- 沼原川調整池 H25完成

## ハード対策

- 河道改修 : 今ノ浦川1.45k~磐田久保川合流点(4.30k)までの改修
- 下水道(雨水)整備(ポンプ及び水路の新設) : 今ノ浦第4ポンプ場、谷田川排水ポンプ場、西御殿川排水ポンプ場、雨水幹線1.44km
- 貯留施設 : 安久路調整池 他9箇所 合計V=80,800m<sup>3</sup>



校庭貯留イメージ図  
注) 時間雨量68mm(確率規模W=1/20相当)の大雨時に30cm程度、雨水を一時的に貯留します。  
※校庭貯留8校および沼原川調整池は、貯留容量が少なく、今ノ浦川の水位低下効果は小さいが、周辺の浸水被害の軽減に効果があります。

## ソフト対策

浸水被害軽減対策として、防災情報を携帯端末へ配信する「いわたホットライン」サービスをはじめ、以下の多くの施策を実施しています。水害意識の啓発を行うため、ハザードマップを活用し、水害版図上訓練(R-DIG)を各自治会で実施していく他、水防活動の充実、地域参加型の川づくりなどを実施しています。

## ソフト対策

### ハザードマップの作成、公表、周知

今ノ浦川流域では、浸水実績図および想定氾濫区域図を参考に、ハザードマップを作成し、配布しました。また、住民のみなさんに周知することが大切であるため、ハザードマップを活用し、R-DIG(水害版図上訓練)を各地で実施しています。

※R-DIGに関するお問い合わせは 磐田市危機管理課 (TEL0538-37-4903)

平成27年に配布したハザードマップ

### ポンプ運転調整ルール

※H26.4より運用開始  
想定を上回る豪雨が発生し、河川の水位が高くなった時には、排水ポンプを運転し続けることにより堤防が決壊し、被害が増大することを回避するため、非常時におけるポンプの運転調整(運転の停止等)についてのルールづくりをしています。

### 市民のみなさんと協働して、事業を進めています。

市民との話し合いの場を大切に、治水事業推進の協議会を設置しています。  
なお、磐田久保川流域治水協議会を毎年1回開催しております。

### 各戸での流出抑制(浄化槽タンクの転用など)

地域のみなさんがそれぞれ少しずつ雨水を貯めることで河川への流出を抑制することができます。  
また、貯めた雨水を庭への散水などに利用することで節水にもなります。

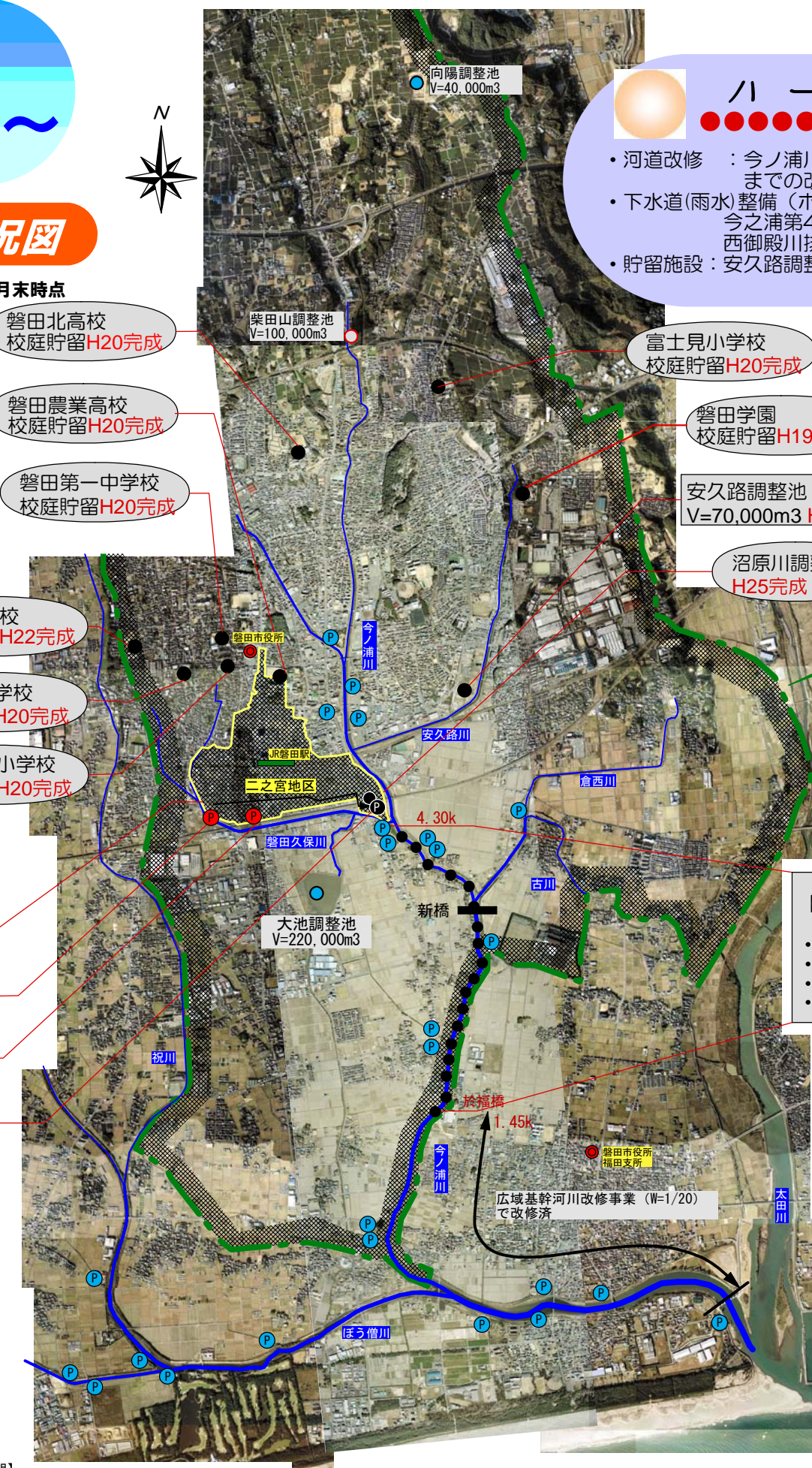
雨水貯留タンク「ためるくん」

### いわたホットライン

災害情報を配信しています。

※いわたホットラインに関するお問い合わせは 磐田市情報システム課 (TEL0538-37-4818)

- ### 下水道整備(総合浸水対策緊急事業)
- 雨水幹線 L=1.44km H27完成
  - 西御殿川排水ポンプ場 0.46m<sup>3</sup>/s
  - 谷田川排水ポンプ場 0.99m<sup>3</sup>/s
  - 今ノ浦第4ポンプ場 12.36m<sup>3</sup>/s H25完成
- 進捗率87%



## 今ノ浦川流域

凡例	河道改修	下水道	ポンプ場	貯留池
既設	斜線	斜線	●	●
整備済	黒丸	黒矢	●	●
整備中	赤丸	赤矢	●	●
未整備	緑丸	緑矢	●	●
本計画以外の計画予定	斜線	斜線	●	●

【河道改修】H23完成  
L=2.85km  
・引堤  
・河道掘削  
・橋梁1橋  
・樋門樋管5基

※貯留容量が少なく、今ノ浦川の水位低下効果は小さいが、周辺の浸水被害の軽減に効果がある施設(校庭貯留8校および沼原川調整池)を示す。

### 今ノ浦川の河道状況

(河道改修前)

(河道改修後)

洪水を流下させるため、河道断面を大きく改修

【用語説明】  
流出抑制: 雨を貯留または地面へ浸透させて、下流の河川の流量を減少させる行為です。  
調節池: 大雨時に池へ雨水を貯留させて、下流の河川の流量を減少させます。  
校庭貯留: 校庭の外周を少し高くするなど、大雨時に雨水を一時的に貯留します。  
ハザードマップ: 洪水時の堤防等による浸水情報と避難方法等に関する情報をわかりやすく示したものです。

この内水対策計画に関するお問い合わせやご意見は...

**今ノ浦川流域総合内水対策協議会**  
静岡県・磐田市

静岡県袋井土木事務所 企画検査課・河川改良課  
TEL 0538-42-3289

磐田市建設部道路河川課 TEL 0538-37-4993

## ～二之宮地区におけるハード対策の整備効果～

今ノ浦川流域では、平成10年9月洪水及び平成16年11月洪水で多大な被害が発生しました。二之宮地区では、これと同規模の集中豪雨が発生しても床上浸水が発生しないよう、平成19年度から**今ノ浦川の河道改修やポンプ場・雨水幹線・貯留施設の整備**を進めており、平成28年3月末現在、西御殿川排水ポンプ場と谷田川排水ポンプ場を除き、概ねハード対策の整備は完了しています。

## 平成10年9月洪水・平成16年11月洪水の被害状況

洪水	H10.9.24	H16.11.12
時間雨量	63mm	68mm
床上浸水	49戸	61戸
床下浸水	159戸	163戸

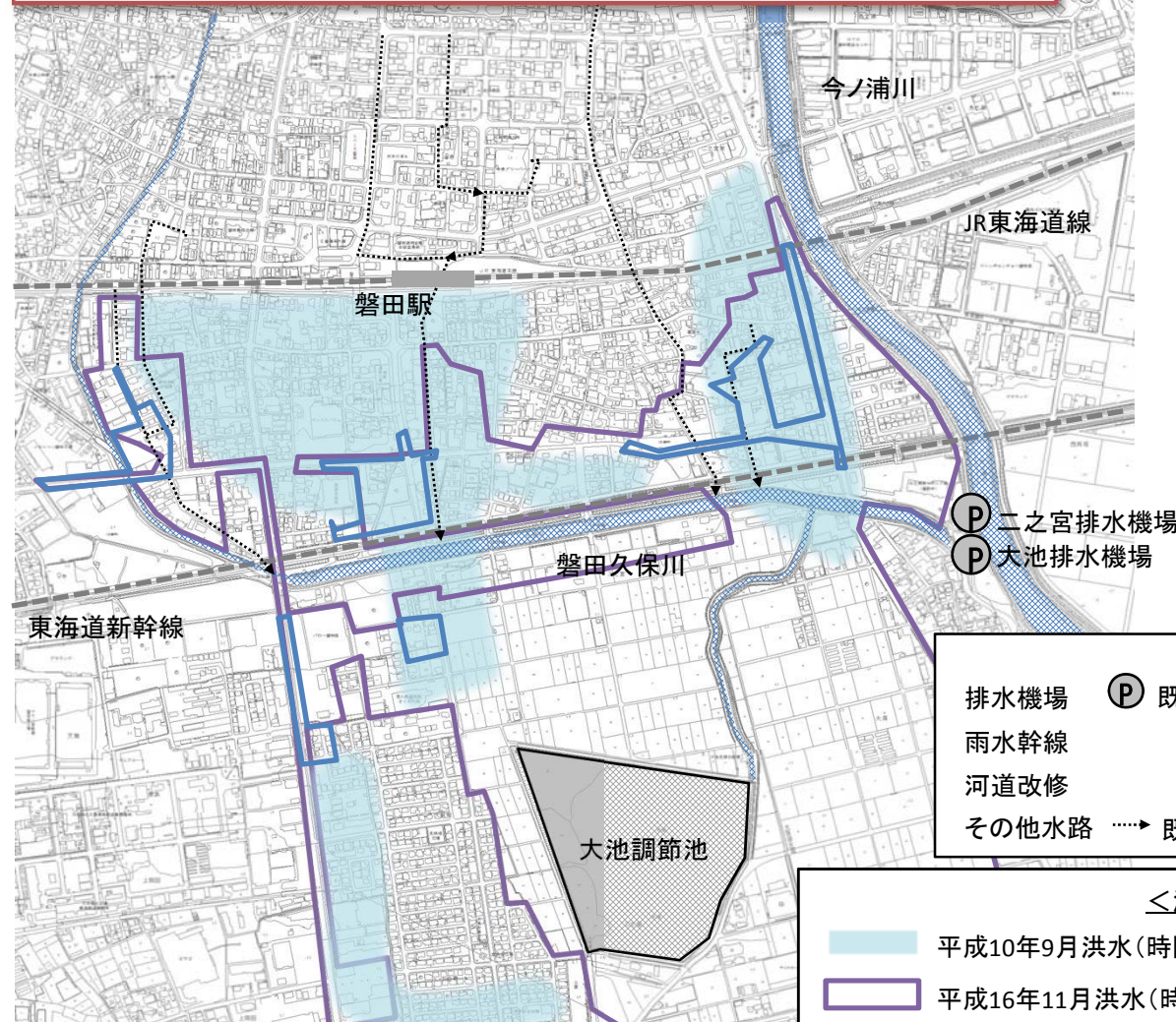


浸水状況(平成10年9月23日)

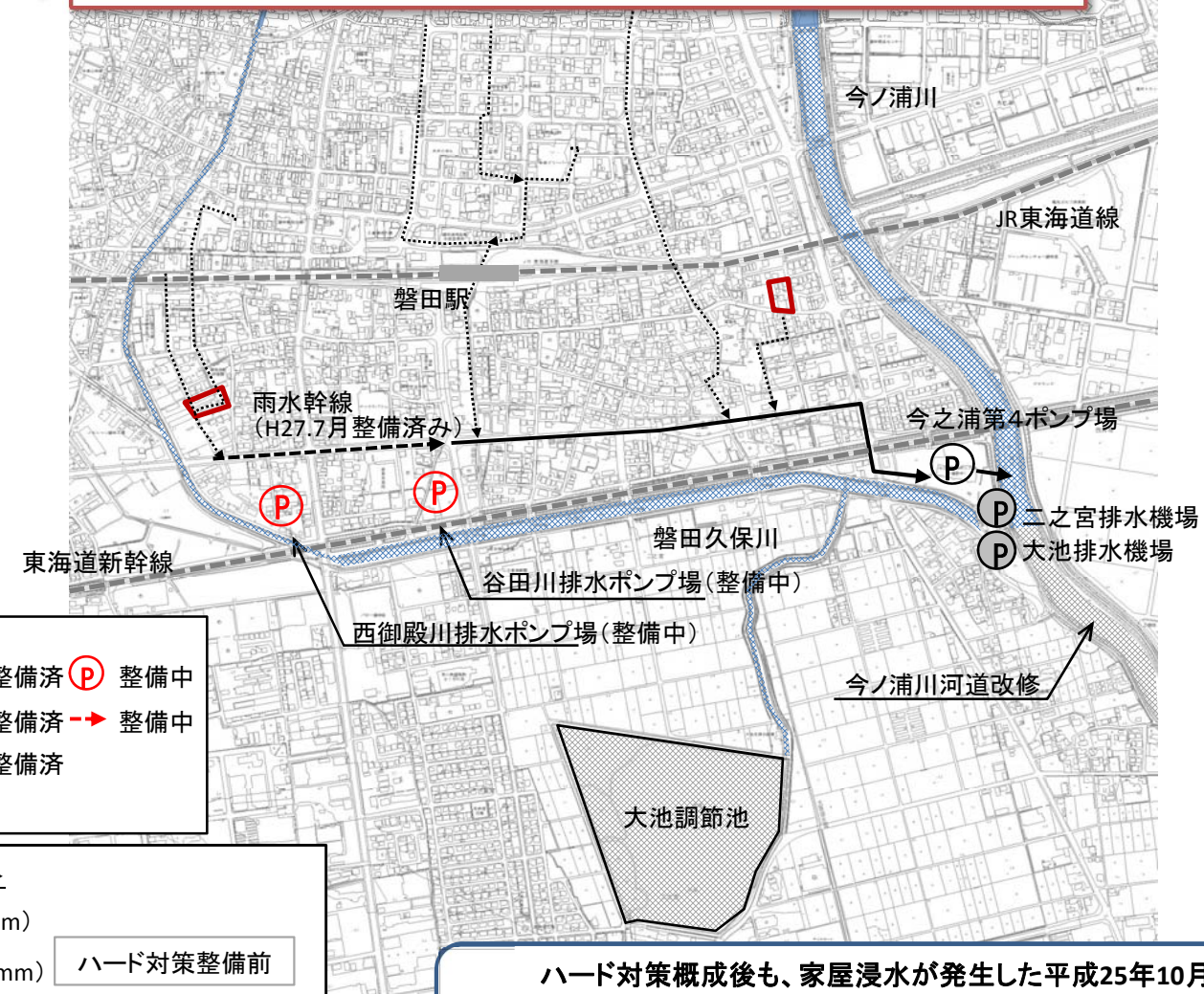


浸水状況(平成16年11月11-12日)

## 浸水実績 (平成26年4月以前ーハード対策整備前)



## 浸水実績 (平成26年4月以降ーハード対策概成後)

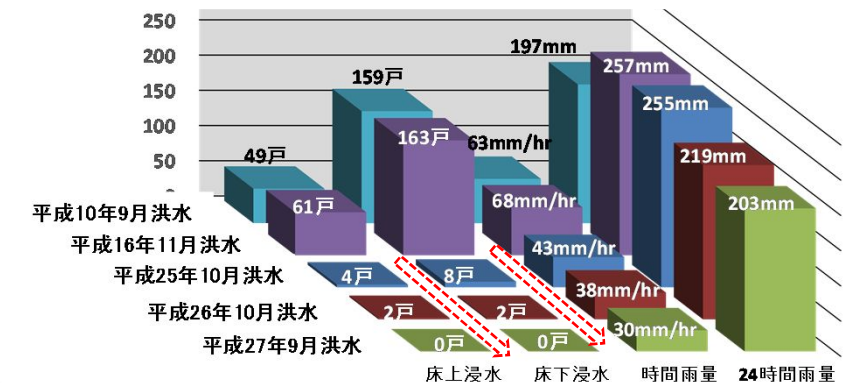


(凡例)  
 排水機場 (P) 既設 (P) 整備済 (P) 整備中  
 雨水幹線 → 整備済 → 整備中  
 河道改修 ■ 整備済  
 その他水路 ..... 既設

### <浸水実績>

- 平成10年9月洪水(時間雨量63mm)
- 平成16年11月洪水(時間雨量68mm) **ハード対策整備前**
- 平成25年10月洪水(時間雨量43mm)
- 平成26年10月洪水(時間雨量38mm) **ハード対策概成後**
- 平成27年9月洪水(時間雨量30mm)-浸水被害なし

## ハード対策概成後も、家屋浸水が発生した平成25年10月洪水と同程度の降雨が発生しているが浸水被害は発生していない



- ◎洪水の大きさは異なりますが、ハード対策概成後に大きな浸水被害は発生しておらず、下水道整備の効果が確認できました
- ◎下水道整備により磐田久保川の水位低下につながり、新幹線南側地域の排水状況も改善されました
- ◎昨年度の洪水(平成27年9月8日)でも二之宮地区では浸水被害が発生しませんでした
- ◎谷田川排水ポンプ場・西御殿川排水ポンプ場の完成により、さらなる治水安全度の向上が期待できます